

# 需要予測調査結果(概要)

## 1 調査概要

### ○調査目的

北陸新幹線開業以降の並行在来線の運営方策の検討のため、JR西日本から経営分離される区間の普通列車の利用動向を推計するものである。

### ○調査手法

将来の乗車人数の推計に当たり、①駅周辺人口(各駅半径2km以内の人口)と②駅周辺住民の利用割合(=当該駅での乗車人数/駅周辺人口)を用いる。

なお、需要を変動させる要因について、以下のとおり考慮する。

- 1) 県内の特急列車(サンダーバード、しらさぎ)利用者の普通列車への転換
- 2) 学校の統廃合・新設(県立坂井高等学校の統廃合(H26)、敦賀市立看護大学新設(H26))
- 3) 新幹線開業効果による利用者増は織り込まない(石川県・富山県調査と同様)

## 2 調査結果

### (1) 駅周辺人口の動向

- ・18駅から半径2km以内の人口は、平成45年度(開業10年後)には12%減少する。
- ・通学定期の対象年齢を含む15～19歳人口は、26%減少する。

駅周辺人口の動向の推計(18駅合計)

	実績値	推計値		変化率	
	H27年度	H35年度 (開業時)	H45年度 (開業10年後)	H27→H35	H27→H45
駅周辺人口(18駅合計)	223,541人	212,791人	196,158人	95%	88%
うち15歳～19歳人口	11,030人	9,819人	8,188人	89%	74%
うち20歳～64歳人口	118,347人	108,743人	97,469人	92%	82%

※将来人口の推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」による

### (2) 駅周辺住民の利用割合

- ・駅周辺住民の利用割合については、平成21年度から27年度の実績値を基に推計し、定期外利用者は1.95%、通学定期利用者は21.25%、通勤定期利用者は2.29%とした。

沿線住民の利用割合の推移(18駅合計)

	実績値							推計値
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H35年度以降
定期外	2.12%	2.24%	2.29%	2.14%	2.02%	2.02%	2.14%	1.95%
定期(通学)	18.87%	19.33%	19.28%	19.55%	20.43%	19.50%	20.20%	21.25%
定期(通勤)	2.27%	2.25%	2.26%	2.23%	2.27%	2.26%	2.29%	2.29%

### (3) 乗車人数の見込み

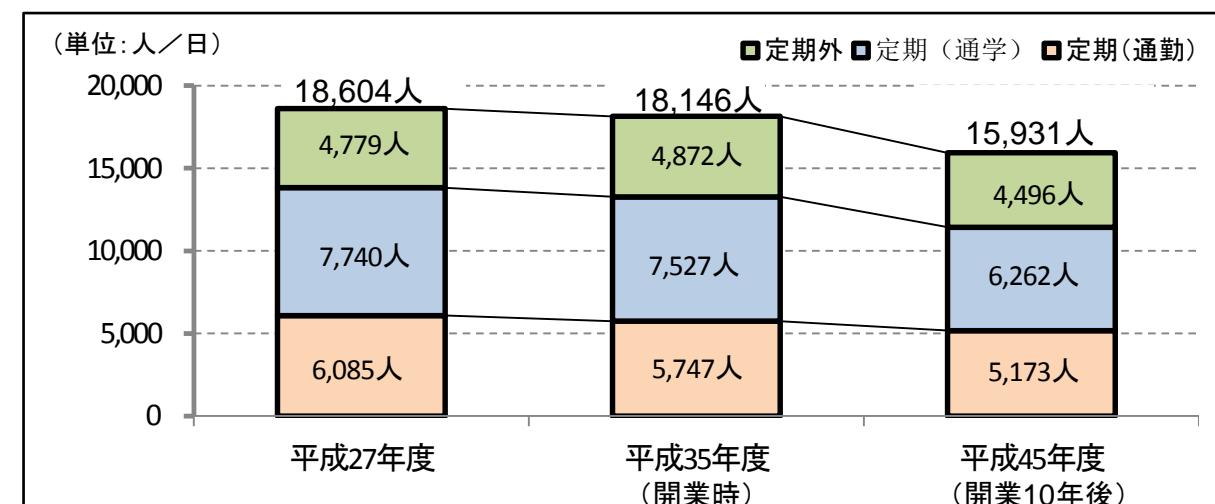
乗車人数の今後の見込みは、平成27年度と比較して

平成35年度(開業時)には、2%(458人)減少

平成45年度(開業10年後)には、14%(2,673人)減少

※なお、乗車人数の減少の幅は、石川県・富山県と比べて小さめである。

乗車人数(1日)の推移



北陸3県の状況

	①旅客流動調査年度 乗車人数	②開業時見込み		③開業時実績	④開業10年後見込み		
		対①比	対見込み比 (③/②)		対①比	対①比	
本県 (石川県境・敦賀駅間)	18,604人 (H27年度)	18,146人 (H35年度)	98%		15,931人 (H45年度)	86%	
石川県 (富山県境・金沢駅間)	19,450人 (H19年度)	18,067人 (H26年度)	93%	26,188人 (H27年度)	145%	16,266人 (H35年度)	84%
富山県 (新潟県境・石川県境間)	38,858人 (H17年度)	32,401人 (H26年度)	83%	40,358人 (H27年度)	125%	26,155人 (H37年度)	67%

## 3 需要予測を基にした本県の検討課題

### ○新幹線、並行在来線、地域鉄道、バスの交通結節機能の強化

#### (1) 県民(通勤定期、通学定期利用者)の利用拡大

- ・通勤、通学の利便性を高めるダイヤ編成(発着時刻・時間の短縮・車両の増結)
- ・新駅の検討
- ・その他(パーク&ライド、マイルール意識の醸成など)

#### (2) 県外客の利用促進

- ・県内観光地との連携による誘客企画の実施
- ・地域鉄道・バスへのICカード乗車券の拡大